

地質ニュース

昭和 56 年 8 月

第 324 号

1981

筑波の水文環境(その1)
—台地小流域河川の流出特性にみられる都市化の影響— …田口雄作… 6

アメリカ展望〜とびあるき①……………倉沢 ……18
USGS・NASA・JSC

ケイソウ質・パーライト質などの
鉱物質汚過助剤とその諸問題……………山田正春…34

鶴田均二氏 勲四等に叙せられる……………佐藤良昭…49

中華人民共和国の鉱山を訪ねて(3)……………小村幸二郎…50

経済地理メモ—社会主義国編—……………資料情報係…59
⑤ルーマニア

地質標本館だより
このシリーズをはじめるにあたり……………陶山淳治
地質標本館の建築石材について……………神戸信和…62
松井和典

帯 広……………松沢逸巳…64
ほか 5 名

口 絵 研究学園都市周辺, 地質の見どころ(その2)……………坂本亨
正井義郎

編集 地質調査所

表紙の写真

友部層基底の不整合

茨城県の中部 水戸から笠間へかけて連なる海拔100m前後の丘陵地には 友部層(坂本・宇野沢 1979)と呼ばれる 成田層より一段と古い第四系が広がっている。友部層はほとんどが海浜で形成された砂層からなっており かつては砂鉄が採掘されていた。この地層は きわめて起伏に富んだ基底面をもって 基盤の花崗岩などに不整合に重なっていることが 一つの特色である。この不整合面の形態から 友部層の堆積当時の古地理も 復元されている。写真は 笠間市南部 上加賀田西方の小さな峠の切割り 中央に白く突出しているのは基盤の花崗岩で そこへ水平なラミナをもった砂層(友部層)がアバットしている。唐桶山麓のこの付近は かつては奇岩怪石が聳立する風光明媚(?)な岩石海岸であったのであろう。そして 急速な海面上昇のために ほとんど原形を残したまま 砂層の下に埋められてしまったのであろう。今後 道路の拡幅などによって このすばらしい露頭が破壊されたり隠されたりしてしまわないように と願っている。

(文 坂本亨 写真 正井義郎)

発行 株式会社 実業公報社